令和3年度 施策・基本事業マネジメントシート (令和2年度実績に基づく評価) 基本目標名 4 豊かな心を育み、学び合うまちづくり										成日 令和 3			
政策	6体系		育てるまちづくり							─ 一施策主管課長	:	生涯学	
		課 市民活動促進課、少年指導センター	V = 11									大塚糸	屯—
1. 派	<u>策の</u>) 目的と成果把握 │この施策は、誰、何を対象としているか	対象指標	Į	単位	H30	R1	R2		①自発的に生涯	学習に取り	組んで	いる状況を
施策	の目	①市民 ②市内の青少年	① 市人口		人	119,348	,	117,706		把握するために記 ②学習成果を地		えんしょ。	うするため
「対	勺	③生涯学習施設	② 小学校5年生~29歳の人 ③ 生涯学習施設の数	数	人 件	20,081 42	19,744 42	19,474		の取組を行ってし 設定する。	いるかどうた	いを把握	置するために
			③ 生涯子自他設の数 ④		17	17 42 4	42			③自ら成長したと は、青少年の健全			
		この施策によって、「対象」をどういう状態にするの					R1 R2	_	設定の考え方	えられるので、こ ④生涯学習など(の指標を採	採用する	0
		①主体的に学習し、その学習成果を地域を還元する。	İ会へ 日頃から生涯学習活動(でいる市民の割合	こ取り組ん 目標 実績	- 0/0		28.0 29.0 33.2 29.9	30.0		民が増えることは	、学習の特	易が提供	せできている
施策の目		②青少年が健全に成長する。 ③学習の環境が整う。	② 学習成果を還元する取組 民の割合	且を行う市 目標 実績	-		11.5 12.0	12.5		と考えられるので	、この指榜	を採用	9 6 °
			自分が成長し自立したと				10.5 7.0 01.0 92.0	93.0					
「意	図」		○ 人の割合 ○ 学習の環境が整っている	実績を感じる市り目標	į		96.3 65.0 45.0 50.0	55.0		市政に関するアン 市政に関するアン			
			4 民の割合	実績	- %		38.5 36.9		成果指標の 取得方法 3	成人式企画運営	委員会アン	ケート	調査
			5	目標実績	-				<u>4</u>	市政に関するアン	ノケート調査	ケート調査	
		業の目的と成果把握									Ż H30		
学習	事業名 青報	①市民 ①学習情報が提供 #####	指標 区分単位 H30 R1 Pのホーム 目標 4 78,000 79,000		<u>本事業名</u> 少年の	<u>対象</u> ①青少年	①夢や希		体験学習・研	成果指標 区分単体験学習・研修会がた 目標 りめになったと答えた児			R2 R3 00.0 100.0
及び 提供	昜の	②生涯学 されている。 (1) ページへ	のアクセス数 実績 件 66,575 51,952	42,330 健:	全育成	育成 ちし		ス成長している。 —		実績	100.0	00.0 93.7 –	
		+ ケ= ロ	境が整って さる市民の割 実績	50.0 55.0 36.9				2	② 青年団体がた事業の参	企画し 目標 加者数 実績 人	500 600 700 464 482 42		
		3	目標						3				
学習.		①学習して ①学習で培った知 2 生涯学	実績 習ボラン 目標 人 415 420	425 430						実績 目標			
を活7 取組	かす	学んだ市 識、技術を社会へ ディア会	登録者数 実績 ^ 369 373	356					(1)	実績			
77.12		一人めた	りの楽習講 還元した件 実績 件 1.8 1.9 1.3	2.0 2.1					2	目標実績			
3. 旅	策及	び基本事業の目標達成度評価											
		令和2年度施策の の市民が主体的に生涯学習に取り組めるよ	う、生涯学習に関する情報を発信する		A-7'#-"		取組方針達成	状況】	↑針・成果指標 達		=		
	とともに	に、現代の課題や市民のニーズに合った講 学びの場を提供する。		ξ流	全て達成	んだ。生	涯楽習フォー	ラムや楽習詞	冓師フェアは新型:	なや広報誌に生涯学習情報オープンを掲載するなど情報発信に取 カフェアは新型コロナウイルス感染症のため中止となったが、静の			
	人材	育成や学習成果を発表・還元する機会の充 動につなげる。	実を図り、学習成果を活かす取組	を市 方針 □ .	一部未達原				炗果発表の機会を提供した。 養講座について、広報誌やホームページ、生涯メニューパンフレッ				ンフレット等で
施	青少	年を対象とした体験的な学習活動を実施す		少年 □ 1	全て未達原				舌動や青年団体 <i>の</i>	ウイルス感気	染症のたる	め一部の事業	
策	か 健全	全育成のための学習活動を実施している団体		全て達成		標達成状況】							
				一部未達原	.「口頃かた仕海学羽活動に取								
			指標		イルス感 ・「自分 <i>た</i>	染症のため学 が成長し自立し	のため学習成果発表の場が減少した。 し自立したと感じる新成人の割合」は、						
			全て未達原	・「学習の環境が整っていると感じる市民の割合」は前年比1.9%の減小で目標未達成であった。							•		
_	基本事	++- +	基本事業の取組方針・成果指標	達成状況			年度基本事業			本事業の取組方			
	学習情 及び場	情報 ・市民大学や各地区公民館市民教 養講座、楽習講師企画講座の開催 等の生涯学習推進に関する情報を、成果:			育少年の 健全育成	, 調性を	養うための作	た社芸性 本験的な学	・協 取組方針 成果指標	□ 全て達成□ 全て達成			全て未達成全て未達成
3	是供	広報紙やホームページ等を通じて市 [基本]	事業の取組方針達成状況】 楽習フォーラム、楽習講師フェアは新型コロナウ	(組方針達成状況] 一ラム、楽習講師フェアは新型コロナウイルス感染症のためは、静のアート作品展をオンラインにて行い、市民の生涯学習図ることができた。 民教養講座等は、ホームページや広報誌等で情報提供をココロナウイルス感染症のため中止となる講座もあった。 の改修については、田沼図書館空調設備改修事業や中央				(アつ。) の健全育成に取り 育成するため、子ど・感感・者を対象に、研修講・引る とは、研修講・引し とは、現代のでは、研修は、日本のでは、研修がは、日本のでは、日		ファイン ファイン ファイン ファイン ファイン かりまま かいまま かいま かいま かいま かいま かいま かいま かいま かいま	兄】		
		翌活動を支援する中止と	なったが、静のアート作品展をオンラインにて行				材を育成す 育成者を対			め 宇体できたかっ	·+_		
		し、市民の生涯学習活動への参加をしょ	スチャ市民教養講座等は、ホームページや広 が、新型コロナウイルス感染症のため中止とな 学習施設の改修については、田沼図書館空調				惟する 手の健全育月			本への支援について の活動は一部の事	こは、新型コ	ロナウイ	ルス感染症の
		促す。また、楽習講師の企画講座・ 公民館 出前講座等において、時代に即応し	3空調設備改修事業等を実施した。			の学習	の学習活動を実施している団体への支援を行う。			にとどまった。			
		ことで、市民の生涯学習活動を振興 「生涯	指標達成状況】 ≦学習のホームページへのアクセス数」は、(実 ♂の環境が整っていると感じる市民の割合」は、	績値未定) 前年比1.1%の増加で					•「体験学習	標達成状況】 習・研修会がためになったと答え			
基本		りる。 あるが	目標未達成であった。新型コロナウイルス感染 利用制限が要因の一つと考えられる。	症のため、生涯学習					•「青年団体		ト調査が実施できなかった。 参加者数」は、一部の事業のみの -		
本事業	774 212 A										ο τ ε.		
7	学習成! を活かす 取組	vす 楽習講師フェア、公民館まつり ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	方針 □ 全て達成 ☑ 一部未達成 指標 □ 全て達成 □ 一部未達成	□ 全て未達成 □ 全て未達成					取組方針成果指標	□ 全て達成 □ □ 全て達成 □	HI	_	全て未達成全て未達成
,		放び架首講師の企画講座・出 前講座等を実施することによ	事業の取組方針達成状況】 アート作品展をオンラインにて行い学習						从不归际		即小足风 口 王(小足风		
		り、目らの字省成果を発表、活 を提信 用できる機会を提供する。 ・・・ ※ ※	供した。 !出前講座・企画講座は、新型コロナウ。	イルス感染症対策									
		・学習成果を活かす楽習講師のを講じ 制度を周知し、市民の主体的・	これがら開催し、オンラインでの講座も実	施した。									
		自主的な学習を支援する。 【成果・「生活	指標達成状況】 理学習ボランティア登録者数」は、前年」	出17人の減となり									
		·「-,		」の楽習講師が社会還元した件数」は、前年比1.0									
		件の減少で目標未達成であった。新型コロナウイルス感染症 のため楽習講師の活動ができなかったことが要因の一つと考											
	平成2	社会情勢変化、国・県の動向、7 25年6月に第2期教育振興基本計画が閣議決	施策の成果向上 市民					に向けての役 事業所	割分担	9=	· 政		
	え多様	性を尊重しつつ、「自立」、「協働」、「創造」を基 「人材育成」等の方向性及び成果目標が設定。	軸とした生涯学習社会の構築に向	会の構築に向・自らが選択したこ				・自らが選択したこ			習、社会教	枚育へ0	多加の啓
施	の直面	する課題や社会の多様な課題に対応した質の 習成果が広く社会で活用されるよう求められて	り高い学習機会等を充実するととも				は果・地域	己の向上に努める・地域社会の活動(を還元する。		空間成果 る。	厓学習のメニューの充実を図		
來	平成2	27年6月議会において、本市の生涯学習の推 その経過と今後、人材育成等将来を見据えた生	を地域に還元する	る。						・社会的な課題への対応や専門知識 の習得など、社会の要請に応える学			
基	へくたと	めの生涯学習の拠点等についての質問があっ 会教育委員から(仮称)生涯学習センター設置に							習の機会を提供する。				
情	平成	31年3月に今後より一層多様化・高度化する市 ちづくりを推進するために第2次佐野市生涯等	万民の学習ニーズにこたえ、生涯学										
	策定し												
U	ハ生活	コー・ノールへぶれ血の元エによって、ぶれ血が 「様式」への対応が求められている。 「館・公民館等の生涯学習施設は、市民のニー											
	である	ことが求められている。	·										
5. 旅		注体の総括・今後の課題・今後の方向性 策の成果実績と施策の基本情報及び施第	6コストに関する全体総括	今後の課題						今後(の方向性		
	さのス	及びホームページに生涯学習情報を掲載、生源	【令和3年度で解決する課題】						5生涯学習課事業	と公民館事		合など、各講	
ム•各	種講座	情報を提供できたが、制空コロナライルへ思想 座等の開催ができず、学習成果を還元する機 5動に取り組んでいる市民の割合」は目標を達							座の内容を検討し様々な課題への対応を図る。 ②学習成果を自ら企画し発表できる各種講座等を開催し、 地域社会の人材育成やまちづくりにつながるよう支援する。				
	と行うで	市民の割合」及び「学習の環境が整っていると		【令和4年度以降にも引き継がれる課題】 ③[学習施設に	ついて、	計画的に改	
・生涯学習施設の修繕については、緊急性の高いものから優先的に行ったが、今後も計画的 に実施する必要がある。				②学んだ成果を社	t会に還え	こする機会	の提供		④青少年を	行い、快適な学習 と対象とする体験的 れらに高校生・大学	内な学習を紹	継続的に	こ実施すると
					④青少年の健全育成のための学習活動の提供 用した					一養成につなげる	。また、青く	少年健全	≧育成のため
体の流	舌動に	ついても一部の事業のみの実施にとどまり目	の支援	の支援)学習活動を実施している青年団体を支援する。 が新しい生活様式」に対応した生涯学習事業や施設運営				
様々7	こここに	⊦ウイルス感染症のため、生涯学習事業の中」 ュニティ活動が制限された。 全和の矢度の対象額は約2億2,500万円で、前	【令和4年度重点課題】 性を					性を啓発す	ク推進及びコミュニティ活動における継続的な取組の必要 生を啓発する。				
		令和2年度の決算額は約3億7,582万円で、前 因は、田沼図書館空調設備改修事業の実施に							⑥図書館の指定管理者公募にあわせ、利用者へのサービス向上が図れるよう、募集要項及び仕様書を作成する。				